



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月9日

上場会社名 PHCホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6523 URL <https://www.phchd.com/jp/ir>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 宮崎 正次  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 木村 正志 TEL 03-6695-9938  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	170,584	2.7	10,540	△22.2	3,395	△83.1	1,440	△90.4	1,195	△92.0	17,619	15.5
2022年3月期第2四半期	166,051	20.6	13,541	107.3	20,148	667.1	15,070	512.7	14,992	501.9	15,251	799.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	9.61	9.52
2022年3月期第2四半期	129.06	125.01

(参考) 持分法による投資損益 2023年3月期第2四半期△265百万円 2022年3月期第2四半期△74百万円

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	596,280	149,337	148,323	24.9
2022年3月期	591,320	136,065	135,374	22.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	38.00	38.00
2023年3月期	-	36.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	358,317	5.2	33,604	311.1	24,133	703.9	16,875	-	16,666	-	133.78

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 2023年3月期の連結業績予想について、詳細は添付資料P.9「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	124,984,532株	2022年3月期	124,144,242株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	211,941株	2022年3月期	211,941株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	124,392,370株	2022年3月期2Q	116,163,009株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	8
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	8
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明 .....	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	10
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	10
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	12
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	14
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	16
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	18
(継続企業の前提に関する注記) .....	18
(セグメント情報) .....	18
(売上収益) .....	20

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、「当期」）における当社グループの売上収益は、170,584百万円（前年同期比2.7%増）となりました。全般的に為替の好影響があり、糖尿病マネジメント事業は前年同期比で増収となりました。また診断・ライフサイエンスでは、前年同期比でmRNAワクチン保存用超低温フリーザーの大型特需は落ち着いた一方で、一般の需要は好調であったことに加え、為替の好影響により前年同期比増収となりました。日本では新型コロナウイルス感染症第7波の影響により、新型コロナウイルス感染症PCR検査の検査数は前年同期比で増加しましたが、同検査の診療報酬低下により価格への影響を受けたヘルスケアソリューションが前年同期比減収となりました。

営業利益は、10,540百万円（前年同期比22.2%減）となりました。上述の増収があった一方で、全事業に亘る物価高、物流費を含む販売関連費用の増加があり、減益となりました。

調整後EBITDAは29,748百万円（前年同期比19.4%減）となりました。主な当該調整項目としては、一時的な事業構造改革関連収益・費用（加算3,027百万円）、一時的な役員報酬（加算1,293百万円）、サービス契約終了に伴う益を含む一時的なその他の収益・費用（減算711百万円）がありました。

税引前四半期利益は3,395百万円（前年同期比83.1%減）となりました。この減少は主に、前述の営業利益の減少に加えて当社が非支配持分を有する上場会社であるSenseonics社への転換権付貸付金に対する公正価値評価に基づく評価損3,024百万円（前年同期は5,751百万円の評価益）と金融費用の増加によるものです。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,195百万円（前年同期比92%減）となりました。この減少は主に税引前四半期利益の減少によるものです。

キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益は8,396百万円（前年同期比47.4%減）となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	166,051	170,584	2.7%
営業利益	13,541	10,540	△22.2%
EBITDA	29,114	25,608	△12.0%
調整後EBITDA	36,907	29,748	△19.4%
税引前四半期利益	20,148	3,395	△83.1%
四半期利益	15,070	1,440	△90.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	14,992	1,195	△92.0%
キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益	15,967	8,396	△47.4%
米ドル平均レート	109.77 円	133.90 円	24.13 円
ユーロ平均レート	130.81 円	138.70 円	7.89 円

(注) EBITDA、調整後EBITDA及びキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益は国際会計基準（IFRS）に基づく開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業利益	13,541	10,540	△22.2%
+ 減価償却費	15,656	14,809	△5.4%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	△83	257	—
EBITDA	29,114	25,608	△12.0%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	521	493	△5.4%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	3,990	3,027	△24.1%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	△1,066	36	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	1,482	—	—
+ 一時的な役員報酬	1,658	1,293	△22.0%
+ 一時的なその他の収益・費用	1,208	△711	—
調整後EBITDA	36,907	29,748	△19.4%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失(有価証券等を除く)

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

(キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益算出表)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
親会社の所有者に帰属する四半期利益	14,992	1,195	△92.0%
(調整額)			
+ M&A関連収益・費用(償却資産)	5,865	6,414	9.4%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	△83	93	—
+ 転換権付貸付金時価評価収益・費用	△5,751	3,024	—
+ 法人税見合い調整額	944	△2,330	—
キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益	15,967	8,396	△47.4%

(注) キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益を以下の算式により算出しております。

キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益

= 親会社の所有者に帰属する四半期利益 + M&amp;A関連収益・費用(償却資産) + 減損損失(有価証券等を除く) + 転換権付貸付金時価評価収益・費用 + 法人税見合い調整額

## ①セグメント別の状況

## 糖尿病マネジメント

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	53,734	55,401	3.1%
営業利益	10,494	12,013	14.5%
EBITDA	17,297	17,325	0.2%
調整後EBITDA	19,552	17,462	△10.7%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業利益	10,494	12,013	14.5%
+ 減価償却費	6,797	5,172	△23.9%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	6	139	—
EBITDA	17,297	17,325	0.2%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	—	—	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	2,958	△31	—
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	△1,033	36	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	330	91	△72.4%
+ 一時的なその他の収益・費用	—	40	—
調整後EBITDA	19,552	17,462	△10.7%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)}$$

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用}$$

## &lt;売上収益の状況&gt;

当期の糖尿病マネジメントの売上収益は、55,401百万円(前年同期比3.1%増)となりました。血糖値測定システム(BGM)事業では、為替の好影響により僅かに増収となりました。中国、その他のアジア太平洋地域で販売が伸長した一方、米国では、自費購入者チャンネルで市場シェアを獲得したものの、販売協業の終了による影響が継続したため減収となった他、英国・イタリアも市場の縮小傾向が続く中で減収となりました。持続血糖値測定機(以下CGM)の売上収益は、Senseonics社製埋め込み型CGM「Eversense E3」が米国市場において第1四半期に販売を開始したことを受け、増収となりました。OEM事業の売上収益は、迅速検体検査(POCT)の成長と新しい電動式医薬品注入器の導入により、増収となりました。

## &lt;営業利益・調整後EBITDAの状況&gt;

当期の糖尿病マネジメントの営業利益は、12,013百万円(前年同期比14.5%増)となりました。前年同期に対する増加の主な要因としては、無形資産の償却期間終了等により減価償却費が減少したこと(前年同期比1,625百万円減)に加え、前年同期には一時的な費用としてBGM事業の営業体制見直しのための事業構造改革関連費用2,958百万円がありました。一方減少要因として、BGMの販売経費の削減に努めましたが、CGM販売の営業体制を強化したこと及び為替影響による販売費及び一般管理費の増加がありました。

調整後EBITDAは17,462百万円(前年同期比10.7%減)となりました。主な当該調整項目として前年同期は、一時的な事業構造改革関連費用2,958百万円の加算及び子会社清算に伴う一時的な資産の処分等収益・費用1,033百万円の減算がありました。

## ヘルスケアソリューション

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	66,869	64,825	△3.1%
営業利益	8,825	5,250	△40.5%
EBITDA	14,040	10,659	△24.1%
調整後EBITDA	14,347	11,167	△22.2%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業利益	8,825	5,250	△40.5%
+ 減価償却費	5,215	5,409	3.7%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	—	—	—
EBITDA	14,040	10,659	△24.1%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	49	—	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	149	462	210.1%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	△33	—	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	128	45	△64.8%
+ 一時的なその他の収益・費用	14	—	—
調整後EBITDA	14,347	11,167	△22.2%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失(有価証券等を除く)

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

## &lt;売上収益の状況&gt;

当期のヘルスケアソリューションの売上収益は、64,825百万円(前年同期比3.1%減)となりました。LSIM事業の売上収益は、47,982百万円(前年同期比4.8%減)、メディコム事業の売上収益は、16,843百万円(前年同期比2.4%増)となりました。LSIM事業では、新型コロナウイルス感染症第7波の影響を受け、新型コロナウイルス感染症PCR検査の検査数は前年同期比で増加しました。また、その他の検査の検査数も前年同期比で増加しましたが、PCR検査の診療報酬低下の影響により、臨床検査事業は前年同期比で減収となりました。新型コロナウイルス感染症の抗原検査キットの販売は増加しましたが、重症化率の低いオミクロン株が主流になった事に伴い、主に重症化患者向けに使用されていた海外向け関連試薬は減収となりました。治験や医薬品分析は増収でした。メディコム事業では、医科システムにおいて、引き続き診療所用カルテ医事システム「Medicom-HRfシリーズ」を主力商品として、2023年4月より導入が原則義務化される厚生労働省が普及促進するオンライン資格確認システムとのセットでの提案等により販売を進め、自社製品の買替を中心に販売が好調に推移しました。調剤システムでは「PharnesVシリーズ」を主力商品として販売を進め、大手チェーン薬局向けの販売が引き続き好調に推移しました。

## &lt;営業利益・調整後EBITDAの状況&gt;

当期のヘルスケアソリューションの営業利益は、5,250百万円(前年同期比40.5%減)の減益となりました。利益率の向上に繋がるコスト削減及び合理化の成果はみられるものの、新型コロナウイルス感染症PCR検査の減収による影響に加え、メディコム事業の売上拡大に伴う販売費及び一般管理費の増加、一時的な事業構造改革関連費用が発生したこと等が主な要因です。

調整後EBITDAは、11,167百万円(前年同期比22.2%減)となりました。主な当該調整項目として、一時的な事業構造改革関連収益・費用(当期462百万円、前年同期149百万円をそれぞれ加算)がありました。

## 診断・ライフサイエンス

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
売上収益	44,037	49,295	11.9%
営業利益	3,004	2,719	△9.5%
EBITDA	6,241	6,579	5.4%
調整後EBITDA	8,023	6,356	△20.8%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業利益	3,004	2,719	△9.5%
+ 減価償却費	3,327	3,855	15.9%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	△90	4	—
EBITDA	6,241	6,579	5.4%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	469	493	5.1%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	809	316	△60.9%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	—	—	—
+ 一時的な契約解除等に係る収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	426	16	△96.2%
+ 一時的なその他の収益・費用	79	△1,048	—
調整後EBITDA	8,023	6,356	△20.8%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)}$$

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用}$$

## &lt;売上収益の状況&gt;

当期の診断・ライフサイエンスの売上収益は、49,295百万円(前年同期比11.9%増)となりました。病理事業の売上収益は、23,132百万円(前年同期比20.6%増)、バイオメディカ事業の売上収益は、26,163百万円(前年同期比5.3%増)となりました。病理事業では、中国上海のロックダウンによる第1四半期の上海工場の操業停止に伴う製品出荷への影響が主に欧州市場で続いたものの、米州での消耗品需要の好調や、為替の好影響により増収となりました。バイオメディカ事業は、前年同期比でmRNAワクチン保存用超低温フリーザーの大型特需は落ち着いた一方で、一般の需要が回復しています。特に米州地域においてライフサイエンス研究施設の新設や拡張案件を多数獲得し、為替の好影響も受けて増収となりました。欧州地域では昨年から引き続きmRNAワクチンの製造拠点となる製薬企業から超低温フリーザーの特需を獲得し為替の好影響も加わり増収となりました。日本では一般需要向け販売が大きく伸長するも、前年同期のmRNAワクチン保存用超低温フリーザーの特需はカバーできず減収となりました。中国でも第1四半期の上海ロックダウンによる営業活動と物流の停止の影響により減収となりました。調剤支援機器・その他の売上は、米州でOEM供給先のM&Aに伴う一時的な活動停滞により減収するも、日本においては市場の回復により好調に推移し、増収となりました。

## &lt;営業利益・調整後EBITDAの状況&gt;

当期の診断・ライフサイエンスの営業利益は、2,719百万円(前年同期比9.5%減)となりました。病理事業においてはサービス契約終了に伴う一時的な収益を計上し、また利益率向上施策の効果の発現も見られたものの、第1四半期の中国上海のロックダウンの影響やインフレの影響をカバーするには至りませんでした。またバイオメディカ事業も含めて製品売価への転嫁を推進しておりますが、原材料費・輸送費の上昇の影響もあり、減益となりました。

調整後EBITDAは、6,356百万円(前年同期比20.8%減)となりました。主な当該調整項目には、サービス契約終了に伴う益を含む一時的なその他の収益・費用(当期1,048百万円減算、前年同期79百万円を加算)、一時的なM&A

関連収益・費用（当期493百万円加算、前年同期469百万円を加算）及び一時的な事業構造改革関連収益・費用（当期316百万円加算、前年同期809百万円を加算）がありました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて4,959百万円増加し、596,280百万円となりました。この主な要因は、円安の影響を受けたこと等によりのれん含む無形資産が17,554百万円増加したこと、需要増加に備えるため等により棚卸資産が7,557百万円増加したこと、現金及び現金同等物が21,519百万円減少したこと、Senseonics社への転換権付貸付金の評価損等によりその他の金融資産が2,248百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べて8,311百万円減少し、446,943百万円となりました。この主な要因は、グループ内配当に係る源泉所得税が支払われたこと等によりその他の流動負債が7,628百万円減少したこと、円安の影響を受けたこと等により借入金が1,690百万円増加したこと等によるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末と比べて13,271百万円増加し、149,337百万円となりました。この主な要因は、在外営業活動体の換算差額等によりその他の資本の構成要素が15,263百万円増加した一方、配当の実施等により利益剰余金が2,209百万円減少したこと等によるものであります。また、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の22.9%から2.0ポイント増加して24.9%となりました。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21,519百万円減少し73,713百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5,455百万円（前年同期比14,799百万円減）となりました。税引前四半期利益は前年同期比16,753百万円減少し3,395百万円となりました。これは純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価損が2,944百万円となったことや、財務制限条項による約定金利の変更を反映した会計処理により支払利息が前年同期比2,144百万円増加し、3,217百万円となったためであります。また、法人所得税の支払額が前年同期比4,656百万円増加し8,771百万円となりました。なお、この支払額のうち4,750百万円は翌期に還付を受ける予定であります。その他の主な要因は早期退職を含むリストラクチャリングに係る支払いが発生したためであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8,425百万円であり、前年同期は6,821百万円でした。経常的な設備投資を主とした有形固定資産及び無形資産の取得による支出が5,677百万円となったことや、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1,798百万円となったためであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、20,589百万円のマイナスであり、前年同期は14,759百万円のマイナスでした。この主な要因は、長期借入金の返済が12,924百万円となったことや、リース負債の返済による支出が2,912百万円となったためであります。また親会社の所有者への配当金の支払額は4,704百万円となりました。

(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想については、以下のとおり修正しました。

当期の連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：十億円)

	売上収益	営業利益	調整後EBITDA	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益(円)
前回発表予想 (A)	350.2	33.3	69.1	22.8	17.8	17.6	31.0	141.60
今回修正予想 (B)	358.3	33.6	69.3	24.1	16.9	16.7	30.2	133.78
増減額 (B-A)	8.08	0.30	0.21	1.36	△0.95	△0.95	△0.77	△7.82
増減率 (%)	2.3	0.9	0.3	6.0	△5.3	△5.4	△2.5	△5.52
(参考)前期連結実績 (2022年3月期)	340.5	8.2	71.9	3.0	△8.3	△8.5	24.8	△70.78

(注) 調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

調整後EBITDA = EBITDA + 一時的な収益・費用

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 減損損失 (有価証券等を除く)

\* 調整後EBITDA及びキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益は、国際会計基準(IFRS)に則った開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

昨今の円安を受け、通期見通しの前提となる為替レートを、1米ドル128円から138円へ、1ユーロ136円から139円へ変更しました。これに伴い主に糖尿病マネジメント及び診断・ライフサイエンスにおいて、為替の好影響を見込みます。加えて、バイオメディカ事業において製薬企業からのmRNAワクチン保存用超低温フリーザーの期初想定以上の需要獲得や第3四半期以降もライフサイエンス研究向けの堅調な一般需要を見込みます。ヘルスケアソリューションにおいては、見通しは維持します。以上により、当期の売上収益は3,583億円を予想します。営業利益は、為替の好影響に加え、上述のバイオメディカ事業の需要の好調、一時費用の減少等を見込む一方で、第3四半期以降も全事業に亘る物価高、BGM事業における米国での販売協業の終了による影響の継続、病理事業における中国上海のロックダウンによる第1四半期の上海工場の操業停止の影響をカバーしきれないリスク等も反映し、336億円を予想します。調整後EBITDAは693億円を予想します。当第2四半期のSenseonics社への転換権付貸付金に対する公正価値評価と金利の上昇による影響を反映し、税引前利益は241億円を見込みます。親会社の所有者に帰属する当期利益は167億円で、これに有価証券等を除いた減損損失1億円、M&A関連収益・費用(償却資産)123億円、当第2四半期の転換権付貸付金公正価値評価30億円、法人税見合い調整額△19億円を加算したキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する当期利益は、302億円を予想します。

なお、セグメント別の業績予想は以下のとおりです。

(単位：十億円)

セグメントの名称	売上収益		営業利益(損失)		調整後EBITDA	
	前回発表予想	今回発表予想	前回発表予想	今回発表予想	前回発表予想	今回発表予想
糖尿病マネジメント	111.8	114.3	28.8	28.2	38.6	38.6
ヘルスケアソリューション	132.4	132.4	10.4	10.8	22.7	22.7
診断・ライフサイエンス	104.3	110.0	9.5	9.6	17.2	17.3
本社・その他	1.7	1.7	△15.4	△15.0	△9.4	△9.4

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	95,232	73,713
営業債権	63,727	62,592
棚卸資産	44,509	52,066
その他の金融資産	2,393	2,477
その他の流動資産	10,498	12,091
流動資産合計	216,361	202,940
非流動資産		
有形固定資産	48,276	49,079
のれん	197,754	214,217
無形資産	99,139	100,231
持分法で会計処理されている投資	3,484	3,618
その他の金融資産	22,257	19,924
繰延税金資産	3,245	4,757
その他の非流動資産	802	1,511
非流動資産合計	374,959	393,340
資産合計	591,320	596,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	68,802	64,853
借入金	27,251	30,780
未払法人所得税等	3,219	5,345
引当金	5,019	4,680
その他の金融負債	5,707	6,538
その他の流動負債	27,745	20,116
流動負債合計	137,745	132,314
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	1,942	1,905
借入金	280,685	278,846
退職給付に係る負債	8,214	7,627
引当金	3,277	3,455
その他の金融負債	10,076	9,780
繰延税金負債	11,789	11,441
その他の非流動負債	1,524	1,570
非流動負債合計	317,509	314,629
負債合計	455,255	446,943
資本		
資本金	47,065	47,672
資本剰余金	44,118	43,406
利益剰余金	28,353	26,143
自己株式	△568	△568
その他の資本の構成要素	16,406	31,669
親会社の所有者に帰属する持分合計	135,374	148,323
非支配持分	690	1,013
資本合計	136,065	149,337
負債及び資本合計	591,320	596,280

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	166,051	170,584
売上原価	83,900	89,580
売上総利益	82,150	81,003
販売費及び一般管理費	70,574	70,816
その他の収益	2,174	1,196
その他の費用	135	577
持分法による投資損益 (△は損失)	△74	△265
営業利益	13,541	10,540
金融収益	7,789	134
金融費用	1,182	7,280
税引前四半期利益	20,148	3,395
法人所得税費用	5,078	1,955
四半期利益	15,070	1,440
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	14,992	1,195
非支配持分	78	245
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	129.06	9.61
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	125.01	9.52

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	15,070	1,440
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	388	812
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	△10	100
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	56	79
在外営業活動体の換算差額	△381	14,743
持分法によるその他の包括利益	128	442
税引後その他の包括利益	181	16,178
四半期包括利益	15,251	17,619
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	15,173	17,271
非支配持分	78	347
四半期包括利益	15,251	17,619

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2021年4月1日時点の残高	36,409	31,035	35,158	△1,624	—	400	△32
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	14,992	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	388	△10	56
四半期包括利益合計	—	—	14,992	—	388	△10	56
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△359	—	—	—
自己株式の処分	—	△128	—	164	—	—	—
自己株式の消却	—	△1,250	—	1,250	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	1,639	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストラクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	△13	11	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から	—	—	388	—	△388	—	—
利益剰余金への振替	—	—	△0	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	246	399	1,055	△388	—	—
2021年9月30日時点の残高	36,409	31,282	50,550	△568	—	390	23

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計			
2021年4月1日時点の残高	5,680	△8	6,040	107,018	542	107,561
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	14,992	78	15,070
その他の包括利益	△381	128	181	181	0	181
四半期包括利益合計	△381	128	181	15,173	78	15,251
新株の発行	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△359	—	△359
自己株式の処分	—	—	—	36	—	36
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	△61	△61
株式報酬取引	—	—	—	1,639	—	1,639
新株予約権及びリストラクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	—	—	△2	—	△2
その他の資本の構成要素から	—	—	△388	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	△0	2	2
その他の増減	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△388	1,313	△59	1,254
2021年9月30日時点の残高	5,298	120	5,833	123,506	561	124,067

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2022年4月1日時点の残高	47,065	44,118	28,353	△568	—	412	△92
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	1,195	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	812	100	79
四半期包括利益合計	—	—	1,195	—	812	100	79
新株の発行	607	△425	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△4,709	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	208	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストラクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	△495	491	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	812	—	△812	—	—
その他の増減	—	—	△0	—	—	—	—
所有者との取引額合計	607	△712	△3,404	—	△812	—	—
2022年9月30日時点の残高	47,672	43,406	26,143	△568	—	512	△13

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計	
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	合計				
2022年4月1日時点の残高	15,753	333	16,406	135,374	690	136,065	
四半期包括利益							
四半期利益	—	—	—	1,195	245	1,440	
その他の包括利益	14,641	442	16,076	16,076	102	16,178	
四半期包括利益合計	14,641	442	16,076	17,271	347	17,619	
新株の発行	—	—	—	182	—	182	
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	△4,709	—	△4,709	
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	
株式報酬取引	—	—	—	208	—	208	
新株予約権及びリストラクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	—	—	△3	—	△3	
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	△812	—	—	—	
その他の増減	—	—	—	△0	△24	△24	
所有者との取引額合計	—	—	△812	△4,322	△24	△4,347	
2022年9月30日時点の残高	30,394	776	31,669	148,323	1,013	149,337	

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	20,148	3,395
減価償却費	15,656	14,809
減損損失(又は戻入れ)	△83	257
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の 評価損益(△は益)	△7,759	2,944
支払利息	1,073	3,217
持分法による投資損益(△は益)	74	265
固定資産売却損益(△は益)	△13	△8
営業債権の増減額(△は増加)	2,972	6,012
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,384	△4,059
営業債務の増減額(△は減少)	△3,432	△6,794
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	53
その他	455	△4,665
小計	25,706	15,429
利息及び配当金の受取額	329	267
利息の支払額	△1,676	△1,836
法人所得税の支払額	△4,115	△8,771
法人所得税の還付額	11	366
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,254	5,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△6,685	△5,677
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	54	63
貸付けによる支出	△601	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△1,798
事業譲受による支出	△330	—
事業譲渡による収入	700	—
持分法で会計処理されている投資の取得による 支出	△985	—
投資の取得による支出	△755	△290
投資の売却及び償還による収入	2,008	—
その他	△226	△723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,821	△8,425
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△444	△234
長期借入による収入	311,348	—
長期借入金の返済による支出	△322,683	△12,924
リース負債の返済による支出	△2,614	△2,912
株式の発行による収入	—	182
自己株式の取得による支出	△359	—
自己株式の売却による収入	36	—
親会社の所有者への配当金の支払額	—	△4,704
その他	△41	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,759	△20,589
現金及び現金同等物の為替変動による影響	165	2,041
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,160	△21,519

現金及び現金同等物の期首残高	60,762	95,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,601	73,713

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメント

各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業内容
糖尿病マネジメント	血糖自己測定システム及びPOCT (Point of Care Testing) 製品等の体外診断機器並びに電気式医薬品注入器 (インジェクタ) の開発、製造及び販売
ヘルスケアソリューション	レセプトコンピュータ・電子カルテ等医療IT製品の開発販売や臨床検査事業の展開
診断・ライフサイエンス	研究・医療支援機器、病理診断機器の開発製造販売

(2) セグメント収益及び業績

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	53,734	66,869	44,037	164,641	1,409	166,051
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	53,734	66,869	44,037	164,641	1,409	166,051
営業利益（△は損失）	10,494	8,825	3,004	22,324	△8,783	13,541
金融収益						7,789
金融費用						1,182
税引前四半期利益						20,148
その他項目						
減価償却費及び償却費	6,797	5,215	3,327	15,340	316	15,656
減損損失（△は戻入れ）	6	—	△90	△83	—	△83

(注) 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	55,401	64,825	49,295	169,522	1,062	170,584
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	55,401	64,825	49,295	169,522	1,062	170,584
営業利益（△は損失）	12,013	5,250	2,719	19,983	△9,442	10,540
金融収益						134
金融費用						7,280
税引前四半期利益						3,395
その他項目						
減価償却費及び償却費	5,172	5,409	3,855	14,436	372	14,809
減損損失（△は戻入れ）	139	—	4	143	114	257

(注) 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

## (売上収益)

## 収益の分解

主たる地域による収益分解と報告セグメントとの関連は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	その他	合計
地域別					
日本	3,475	63,123	6,842	117	73,559
欧州	27,997	2,185	10,304	—	40,488
北米	14,334	117	19,101	—	33,553
その他	7,927	1,442	7,788	1,291	18,449
合計	53,734	66,869	44,037	1,409	166,051

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	その他	合計
地域別					
日本	3,659	61,865	6,199	147	71,872
欧州	29,261	1,763	11,406	—	42,431
北米	13,068	69	24,245	—	37,383
その他	9,411	1,126	7,444	914	18,896
合計	55,401	64,825	49,295	1,062	170,584